

NO. 29

情報ステーション

# しろやま



## 去る2月に発生した古賀志山火災への 協力に対し、市長から感謝状



愛する名峰の一大事に、消防関係者のみならず、地元の多くの人々が心を合わせ、大規模な消火活動をさまざまな形でサポートしました。

寒空の下、昼夜を問わず消火活動を行う消防関係者等に、少しでも温かいものを、少しでも力のつくものを、との思いから、女性パワーを集結、炊き立ての米で握った数百個のおにぎりや貝だくさんのトン汁などを現場に届けた地元自治会や地区の防災会等の皆さん。

忙しい仕事を急きょ休みにして駆けつけ、消防署員等とともに活動を繰り広げた、地元消防団の皆さん。現地対策本部へ土地の提供等を行った方々。

これからの協力に対して、去る5月29日に宇都宮市長から感謝状が贈呈され、ねぎらいと感謝の言葉をいただきました。

感謝状は、城山地区連合自治会防災会、古賀志自治会、城山地区食生活改善推進員協議会、城山地区婦人防火クラブ、瀧神社氏子一同、御岳山氏子一同、消防団城山分団、古賀志町の星野さん・北條さん・柴田さん等、13の団体・個人に贈呈されました。

記事担当 太田光彦



## 災害への備え 着々と～消防団ポンプ操法競技会～

去る6月2日、消防ポンプの操法技術向上を目指し、宇都宮地区の各地区消防分団対抗のポンプ操法競技会が行われました。

この競技会には、毎年、城山地区から2つの部（城山分団は15の部で構成）が出場しており、今回は、荒針・坂本・戸室を担当している第6部と、下飯田を担当している第5部が出場しました。

ポンプは、的確にしかも速く扱わなければ、いざという時に役に立ちません。

各部は、3月下旬から競技会の日まで、ほとんど毎日のように早朝訓練に励みます。

城山分団員は現在160名、日ごろの点検のほかに、防犯のための見回り活動や年末年始の火災予防のための巡回等、幅広い活動を行っています。

消防団城山分団長 吉澤 英俊

## 防災資機材点検訓練を実施～城山地区連合自治会防災会～

自分たちの地域は自分たちで守るという隣保共同の精神に基づき、地域防災への対応に万全を期し、自主的な防災活動に努めていくことを目的に、平成14年に設立された城山地区連合自治会防災会。

今年は、古賀志山火災や中越沖地震等の発生もあったことから、去る8月4日に、城山地区市民センター敷地内の地区防災倉庫内に保管されている防災資機材の点検及び操作訓練を実施し、より確実な使用方法等について学びました。（なお、訓練の様子が9月2日にとちぎテレビで放映されました。）

また、各自治会や団体が日常的に資機材を利用できるよう、資機材リストの配布も行いました。

災害は忘れたころに突然やってきます。「いざという時に役に立つように」そんな心構えで、災害への備えをしていきましょう。

城山地区連合自治会防災会長 鶴見 清



## ふれあい会食

西の宮シニアサロンは、毎月第2火曜日に開催され、去る7月10日で21回目となりました。この日は会食ということもあって、自治会館一杯48名が集いました。

いつもの様に包括支援センター宮の里の職員の方に各々の血圧測定、健康状態の問診、椅子に座って出来る筋肉体操を指導してもらいました。

会食は12時少々過ぎてしまいましたが、お寿司と城山農産加工所で作られているお豆腐、梅ゼリーをいち早く取り入れ、栄養バランスの良い献立になりました。加工所の品も評価が高く初めて加工所の存在を知った方がほとんどでした。この様な場で加工所の品を活用することにより、地産地消の運動が盛り上がっている現在、地域の活性化につながっていくことは、最も望ましいあり方ではないかと思いました。

西の宮シニアサロンはシニアの皆さんが気楽に集まって出会いを楽しみ、おしゃべりや会食、介護予防に、交流を深める場として順調に定着しつつあります。西の宮自治会 上野紀子



## 不法投棄監視パトロールに参加して

今回初めて参加した。集合時間に合わせ市民センターに着いたが、大勢の方が集まっていた。会長、事務方の話しの後、予め決められたコースに分かれ、手配の車に乗って出発。我々のコースは大谷街道文挟（フバサミ）線の南側で、先ずは明保通りに入り、東北道上り線側の側道を南下。城山中通り手前で下車、この辺は目立った投棄物は見受けられず、中学校方面に移動し文挟（フバサミ）街道に入り、栃木県立盲学校の先を右に曲がり、城山西小の西の方に出た。古賀志町のパトロール予定地は、道路条件が悪く中止となり、地区市民センターに戻った。心配した古賀志地区の県道も、見た所とてもきれいで、地元の皆様の努力を感じることが出来た。全体的に、目に余る所は見られなかったせいか、ふと自分達の事が気になった。今年に入って、ごみステーションへの違法持ち込みが3件あり、その内の2件が自転車。1件が消火器で、ごみステーションでは扱わないもの。最終的に市の担当課に連絡し、引き取ってもらった。これらの物が人目の付かない場所だと、友を呼ぶことになっていたかも知れないと思うとぞっとする思いである。決められたことはみんなで守ろう。

リサイクル推進員 藤田 榮

## 城山クリーンアップ2007

8月4日（土）厳しい暑さの中、早朝より城山中学校の全生徒、職員をはじめ、城山地区コミュニティ協議会等の多くの皆様が参加し、城山地区内の4ヶ所に分かれて、ゴミ拾いや除草作業を行いました。

粗大廃棄物等のゴミは減っているものの、弁当、飲み物等の投げ捨てゴミは依然多く、現地で分別しながらの作業でした。側道だけでなく、林の奥のゴミまで集める方や、猛スピードで車が通り過ぎる中、安全に作業できるように、誘導していただいたり、集められたゴミ袋をトラックで運搬して下さったりと、各団体の皆様のご協力で、私達のまちが美くなりました。

城山地区は、豊かな自然環境や観光資源に恵まれたところです。身近にある多くの自然や史跡、文化財に目をむけ、豊かで美しい故郷を守ることは、すばらしいことだと思います。額に汗して活動し、得られた清々しい気持ちと満足感を忘れずに、地域を挙げて城山クリーンアップの活動が今後も続けられますことを心より願っています。



城山中PTA 廣田和子

## 自治会のお祭り

### 「第10回城西祭り」が行われました



私たち城西ニュータウンでは、自治会主催の「第10回城西祭り」を9月2日（日）に、自治会内にある石野森公園において、開催いたしました。当日は、自治会の役員等がスタッフとして、焼きそば、フランクフルトを会員に配布したり、子供たちのために金魚すくいを行ったり、とりたての農産物を販売するなど、盛りだくさんの内容で自治会内の親睦を深め、育成会においては、エアーくじや輪投げ等を行い、子ども中心の祭事を行いました。また、田下のおはやし会の方々には毎年お手伝いをいただくとともに、よさこいの方々には、すばらしい踊りを披露していただきました。

今回は特に、古賀志山火災や新潟での地震等がありましたので、防災意識を高めてもらうためにも、消防署協力のもと、起震車とはしご車を会場に設置して、防災体験を行いました。

最後に自治会会員を対象としたおたのしみ抽選会を行い、大いに盛り上がり、お祭りを終了いたしました。

城西ニュータウン自治会長 渡邊 道仁



### 田野町で「天王祭」が行われました

7月22日（日）に田野町自治会の主催による恒例の「天王祭」が実施され、老若男女併せ約100名の参加者が、荘厳な屋台を引き、町内を回りました。

田野町屋台は、前面鬼板に豪快な龍、内欄間には桐に鳳凰、前左右の柱には梅に小鳥、後ろ鬼板に小鳥の彫刻が松材に彫刻された豪華なもので、以前は天棚だったものを屋台に改造したものです。

午前11時に出発した屋台は、約4時間をかけて、八坂神社や公民館を回り、午後3時に格納庫へ戻りましたが、今年度も、子ども会やスマレ会、ラベンダー会等が協賛となり、真夏日の中、お弁当やかき氷なども振る舞われるなど、伝統深く、楽しい1日となりました。

田野町自治会長 渡辺 正男



## 来る11月3日(土)・4日(日)に城山地区文化祭・農業祭が開催されます

今回の目玉は「大谷石あかり・夢あかり展」。今年度のフェスタin大谷で初めて行われ大好評だったイベントのミニ版。文化祭・農業祭バージョンです。

大谷石で作られたオブジェ等から漏れる、淡く幻想的なろうそくの火のあかりの下、秋の夜長を楽しみませんか。

実施日時は11月3日(土)午後5時～午後8時30分。当日は、映画会も行われ、石の里大谷が舞台となった「石山の歌」も上映されます。

その他のイベントでは、恒例の作品展や農産物販売、模擬店、ホールアトラクション等の他、県立盲学校生徒によるマツサージコーナーや小中学生対象の大谷石細工教室、オーケストラコンサート等、盛りだくさんの催しを用意してお待ちしています。

皆さんお誘いあわせの上、どうぞお気軽にお越しください。

イベントによって実施日時が異なります。詳しい情報等のお問い合わせ先は、城山地区文化祭・農業祭実行委員会事務局(城山地区市民センターTEL:652-4794)まで。

## 「活気溢れる明るいマチを子供に伝えよう」



しろやまヒト、マチづくり講座「開運!しろやま探検隊」が6月13日(水)夜に開講した。宇大の藤本、広瀬教授の講演会を行ったが約150名の多方面の方々が参加した。

城山で中心となってマチづくりに活動している方々の事例紹介があった。それを受けて、講師はまずマチづくりは、地域の人々がおにぎり(一つにまとまること。)になることと、

個性を保ちながら小さなことでも同じ方向に向かうことが大切である。そして、米粒と米粒を結び付けるもち米のような存在の人も必要であると話された。

参加者は、自分が地域で出来ることを、一枚の紙に一つずつ書き、七夕飾りに結んだ。ここで書かれた沢山の言葉が、地域の財産であり、この事が実際の行動となって動くとき、その動きを上手に受け入れる組織があってこそ、新しい風がおこり素敵なマチづくりの始まりとなると思っている。

今後行われる第2弾、第3弾にも大いに期待する。

城山の風



(第2弾は、9月8日に「住んでいてもなかなか行けない 結構知らない ディープな城山バスツアー」として実施されました。)



## 「城山地区コミュニティ協議会 環境部会」活動報告

今年度より発足しました城山地区コミュニティ協議会「環境部会」では、次世代を担う城山中学校生徒会の皆さんとの共催で、8月4日（土）午前7時30分より“みんなできれいに住みよい城山”を合言葉に「城山クリーンアップ2007」を実施いたしました。

生徒の皆さんを始め、自治会、各種団体、保護者、教職員等のご協力で、4つの場所（大谷市営駐車場、景観公園、荻の道、森林公園通り）を中心に、清掃活動を実施。参加人数は365名、ゴミの量は焼却ゴミが計864kg（うちビン・カン・ペットボトル34kg）と多量のゴミが収集されました。

見た目も美しくなった大谷地区、多くの方が流した汗以上に、訪れた方が気持ちよく観光を楽しむことが出来るだろうと思いました。

ご参加くださいました生徒の皆さんを始め、多くの方々、本当にありがとうございました。

環境部会の課題や継続的な活動といたしましては、地球規模の温暖化問題等に取り組んでいく所存ではありますが、まず、地区の皆さんには、日頃の生活の中で身近な所のゴミ拾い等、ご協力をお願いいたします。

「何時も綺麗な城山になりますように」との思いから、4名で活動を始めたばかりの環境部会ですが、今後共どうかご協力をお願いいたします。

また、一緒に汗を流してくださる企画推進員を募集しておりますので、ご一報下さい。

報告者 環境部会：田島孝夫



### 城山地区ホームページが楽しい！



毎月更新されている城山地区のホームページはご覧になったことがありますか？

城山の楽しい情報満載ですので、是非、アクセスしてくださいね。

また、更新作業などを手伝ってくれるスタッフも募集しています。是非、ご連絡ください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>



「情報ステーションしろやま」の企画編集員・通信員を募集しています

城山地区コミュニティ協議会が発行している当紙「情報ステーションしろやま」の編集作業や記事の取材などを手伝っていただけるスタッフを募集しています。年齢・経験等は不問です。

是非、ご連絡ください。

問い合わせ先：城山地区市民センター内「情報ステーション しろやま」担当まで



## サークル紹介

### 『一緒に絵を描きませんか?』



私たちは、城山地区市民センターで油絵を習っている集まりです。  
始めて油絵を描く人たちばかりで楽しいグループです。

》》》月に2回、第2、第4木曜の午後1時～

城彩会グループ

気軽にのぞいてみてください。



## サニーデイズ・カントリーダンス・クラブ

去年の夏に活動を開始したカントリーダンスの同好会です。  
カントリーダンスとはカントリーミュージックやポップスに合わせて、みんなが同じステップを踏む陽気で楽しいダンスです。ダンスは初めてという方も、パートナーは要りませんので、年齢や性別に関係なく気軽にはじめられます。音楽に合わせて簡単なステップから練習していますが、すぐに体でリズムを捉えて、軽快に皆さんお気に入りのステップを楽しんでいます。  
お父さんお母さんと一緒に子どもたちも楽しく遊んだり踊ったりしています。服装もいつものままで、履きなれた靴ではじめてみませんか?  
なれてきたらベルトやブーツで、気分はウエスタンです。

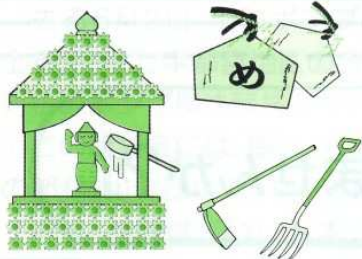
#### 練習日は

月に2回土曜日の夜と  
月に2回平日の午前中  
(城山地区市民センター)

#### 連絡先

サニーデイズ代表大竹真由美  
(028-652-5846)





## 古賀志と野尻・長坂地区の薬師様と花祭り

近代医学の発達する前は、病気は「氣が病む」状態、いわば氣＝靈魂が不安定になったり衰弱すると考えられてきました。病気にかかったり怪我をした場合には、悪霊の祟り・厄病神・疫病神の仕業などと考えられ、いろいろな呪いや神仏への信仰によってそれを乗り切ろうとしてきたのです。とにかく、この時代は、自分の体は自分で守るしか方法は無かったのです。

その中でも薬師様は、昔から人々の健康を守護し、病を治してくれる有難い仏様として信仰されてきたのです。古賀志では廃寺跡に残る薬師堂や個人の家屋敷内の薬師堂などが4～5カ所あります。野尻・長坂地区にも個人が維持管理している薬師堂が2カ所ほどあります。

薬師様は正式に佛教の如来の1仏で「薬師如来」または「薬師瑠璃光如来」と呼ばれます。人々の万病を治癒し、寿命を延ばしてくれる信仰が一般的となっていました。なかでも、眼病のご利益はよく知られ、古賀志の薬師堂を訪ねてみると、眼病平癒を祈願して奉納された絵馬に「め」の文字や、眼の絵を描いたものなどがあります。また、眼病の治ったお礼として「お餅やお酒の絵馬」が長坂に残っています。

薬師様の縁日は旧暦の「四月八日」とされており、村々の寺院や薬師堂では、灌仏会（かんぶつえ）とかお釈迦様の誕生会（たんじょうえ）とも呼び、法会を行っています。季節の花をかざり、アマチャを頭にかける行事になっています。アマチャをもらって眼を拭く人は少なくなりましたが、昭和の初めの頃まではアマチャをもらって飲んで楽しんだ子どもたちが多数おりました。

この花まつりは、農事の開始時期にあたり、山から祖霊を迎えお祀りし、農業を守護してもらおうとするものであり、それと共に悪霊・邪霊などを払い鎮めようという意味が込められていると多くの方が信じていました。いずれにしても、人々にとって薬師様は、毎日の健康で平安な生活を見守ってくれ、病で苦しむ人々を救ってくれる仏様であります。花祭りも人々の生活の折り目であったのです。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄二

## 編集後記

関わってから約1か年、毎々事務局にお手数をお掛けする状態です。このところ実質3名で編集作業をしております、紙面の偏り防止の意味でもあと2～3名の編集員が欲しいところです。

「見ましたよ」と声をかけてくれる方が少しずつ増えております。より内容の充実に向けて是非、ご参加ください。

太田光彦

